第５学年　道徳科学習指導案

１　主　題　名　　自分の役割を考えて　（C　よりよい学校生活、集団生活の充実）

２　教　材　名　　「森の絵」（「小学道徳　５」教育出版）

３　本時の指導

（１）ねらい

　　えり子さんの考え方の変化について話し合うことをとおして、クラスや学校で役割を果たすことの大切さに気づき、自分の役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスや学校を作ろうとする実践意欲と態度を育てる。

（２）準備・資料　教師・・・場面絵、短冊カード

　　　　　　　　　児童・・・教科書、道徳ノート

（３）指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | ・留意点　☆教師の支援　**□**評価の視点と方法 |
| つかむ  ５  分 | １　係や委員会の仕事について前期の様子を振り返る。  ・学級委員をがんばった。  ・本当は体育委員をやりたかった。  ・大変な仕事もあった。 | ・　学級の係や委員会など１人１役の役割について振り返させる。 |
| 考える  35分 | ２　教材「森の絵」の範読を聞く。  ３　えり子がなげやりだった理由を考える。  　　・　本当は女王の役がやりたかったという未練があったから。  ・　めぐみさんの女王の演技がどんどん上手くなっていくのが悔しかったから。  　　・　道具係の仕事のやる気が出なかったから。  えり子さんがいきいきとし始めたのはどうしてでしょうか。  ４　えり子の考え方が大きく変わった理由を考える。  (１)　ノートに記入する。  　　・　だれかがやらないと劇にならないと言って、刺繍をがんばる文男さんの姿を見て、自分も絵をがんばろうと思ったから。  ・　めぐみさんも、自分の演技以外の仕事もがんばっていることに気付き、自分もクラスのためにがんばろうと思ったから。    (２)　全体の場で発表する。  　・　文男さんや、めぐみさんの姿を見て、クラスみんなのためにがんばることが大切だということに気づいた。  　・　劇をみんなで成功させることが一番だということに気付いた。 | ・　登場人物の状況を押さえる。  ・　えり子の揺れ動いている気持ちを押さえる。  ☆　挿絵を貼って、えり子さんの表情の変化に注目させる。    ・　この後の意見交流で考えをより深めさせるために、初発の考えは簡潔に一文程度にまとめさせる。  ☆　なかなか考えられない子にはえり子がどう思っていたかに目を向けさせる。  自分の役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスや学校をつくることについて、多面的・多角的に考えることができる。  （ノート・発言）  ・　友達の意見を聞いて気付いたことや新しく考えたことを発表させる。  ・　文男だけでなく、めぐみさんや修さんをはじめ、クラスのみんなが自分の仕事を一生懸命がんばっていることに目を向けさせる。 |
| ふりかえる  5  分 | ４　学習を振り返る。 | ・　今日の授業を通して、考えたことや改めて気付いたことをノートに書かせ、発表させる。  自分の役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスや学校を作ることについて、自分との関わりで考えることができる。  （ノート・発言） |